

記入例【申請する全ての方】

学校へ提出する年月日
を記入してください。

※お願い

ボールペン等で記入してください。

えんぴつやインクが消えるボールペンは使用しないでください。

年 月 日

北海道公立高校生等奨学給付金受給申請書

保護者等の氏名を記入してください。

保護者等がない場合は、生徒本人の氏名を記入してください。

を申請します。

【1. 申請者について】

ふりがな	ほっかい いちろう	申請者の電話番号
申請者氏名	北海 一郎	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
申請者住所	〒060-8544 北海道札幌市 北区 中央区北3条西7丁目	
高校生等との関係	親権者・未成年後見人 本人・その他（ 訂正する場合は二重線で消してください（訂正印の押印は不要です）。	

【2. 対象となる高校生等について】

ふりがな	ほっかい たろう	生年月日	昭和 平成 令和	〇 年 〇 月 〇 日
氏 名	北海 太郎			
基準 在学 日現 在に 学校	学 校 名	北海道〇〇高等学校 国 立 ・ 公 立 学校 第 2 学年（年次） 学校の種類・課程・学科:高等学校（全日制）		
	学校の所在地	北海 道 府 県 〇〇 市 区 町 村 〇〇〇〇		
	在学期間	令和5年4月1日 ~ 現 在 （ 年 月 日 ）		
	奨学給付金 受給回数	1 回（昨年度までに奨学給付金を受給した回数）		
	過 去 の 高 等 学 校 等 お け る 在 学 期 間	学校名 〇〇県立〇〇高等学校 令和4年4月1日 ~令和5年3月31日 学校の種類・課程・学科 高等学校(全日制) 在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 3回 4回 不明 ☐ ☒ ☐ ☐ ☐		
	学校名 立 別の高等学校等に在学していたことがある場合は、在学期間等を記載してください。			

【3. 同意事項について】

申請書の提出に当たり、次の事項について同意します。（次の内容を確認の上、□全てにレ印を付けてください。）

- ☒ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、北海道の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 私は北海道 全ての項目に該当することを確認の上、レ印を付けてください。
- ☒ 高等学校等 〇〇県立〇〇高等学校 ※1つでも該当しない項目がある場合は、
- ☒ 保護者等又は高校生等が、この給付金とその目的を同じくする北海道が実施する次の給付金は給付されていません。
- (1) 高等学校定時制課程教科書給与事業及び通信制課程教科書学習書給与事業
- (2) 北海道アイヌ子弟進学奨励補助制度
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。））の支弁対象ではありません。

【4

記入例【道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税の方】

- ☐ 生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることがわかる証明書を添付します。

次のいずれかの該当箇所に必ずレ印を記入してください。
①～⑥に記載のある方の課税証明書等を提出してください。

① の内容を確認の上、ア又はイのいずれかの□にレ印を付けてください。

ア ①の者の課税証明書等を提出します。

①	☒	保護者（親権者）2名分 生徒が未成年（18歳未満）であり、保護者（親権者）が1名分（親権者が、一時的に保護者（親権者）が存在するもの、家庭の事情により保護者（親権者）が1名分の場 離婚、死別等により保護者（親権者）が1名分の場 保護者（親権者）が存在するもの、家庭の事情により保護者（親権者）が1名分の場 保護者（親権者）が存在するもの、家庭の事情により保護者（親権者）が1名分の場
②	☐	保護者（親権者）1名分（親権者が、一時的に保護者（親権者）が存在するもの、家庭の事情により保護者（親権者）が1名分の場 離婚、死別等により保護者（親権者）が1名分の場 保護者（親権者）が存在するもの、家庭の事情により保護者（親権者）が1名分の場 保護者（親権者）が存在するもの、家庭の事情により保護者（親権者）が1名分の場
③	☐	未成年後見人（ ）名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されて ※ 未成年後見人が法人である場合又は財産に限り 者を除く。
④	☐	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）（両親等）2名分 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
⑤	☐	主たる生計維持者1名分 親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 成年に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑥	☐	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

◎課税証明書は、

- ①「令和5年度道民税・市町村民税（非課税）証明書
②「令和5年度給与所得に係る市町村民税・道民税特別徴収税額の決定・変更通知書」の写し
③「令和5年度道民税・市町村民税納税通知書」の写し

イ 次の

- ① ☐ 就学支援金の申請・届出の際、既に「課税証明書」等を提出している又はオンライン申請により個人番号を利用し収入状況を登録又は個人番号を登録している場合に省略が可能です。

省略の場合を含む）。

主たる生計維持者のいずれも存在しない場合
所得割を課されるだけの収入を得ていないた

就学支援金の申請時に控除対象配偶者の課税証明書の提出を省略した場合は、レ印を記入し課税証明書を添付してください。

- ② ☐ ※ただし、就学支援金の申請・届出の際、保護者等全員の課税証明書等を提出していない場合（控除対象配偶者の課税証明書等の提出を省略した場合等）は、奨学給付金では省略できませんので提出してください。

控除対象配偶者課税証明書等提出

省略課税証明書担当者確認欄※道庁税務課又は税務センターへ記入

確認済

④

☆上記のうち、個人番号を確認できる書類を提出した場合又はオンライン申請により個人番号を利用し収入状況を登録又は個人番号を登録した場合は、次の□に必ずレ印を付けてください。

- ☐ 個人番号関係書類の添付を省略する場合
金・申請

処理するときに限って、就学支援金を利用することに同意します。

- ② （2）に該当する場合は、次の内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

- ☒ 私の世帯は、7月1日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助は受給していません。

扶養親族等の状況について（非課税世帯のみ記入してください。）

必ず確認し、レ印を記入してください。

基準日現在15歳（中学生を除く。）以上23歳未満の兄弟姉妹

扶養親族の状況	続柄	氏名	生年月日	年齢	職業・学校名（学年）等	奨学給付金の申請の有無	課程	備考
						☐ 有 ☐ 無	☐ 通信制 ☐ 専攻科 ☐ 上記以外	
						☐ 有 ☐ 無	☐ 通信制 ☐ 専攻科 ☐ 上記以外	
						☐ 有 ☐ 無	☐ 通信制 ☐ 専攻科 ☐ 上記以外	

※ 対象生徒の他に、扶養する高校生等がいる場合は、奨学給付金の申請の有無欄にレ印を付けてください。

※ 対象生徒の他に、扶養する高校生等がいる場合は、課程欄の該当する箇所にレ印を付けてください。

※ 扶養状況確認のため、15歳（中学校を除く。）以上23歳未満の兄弟姉妹の健康保険証等の写しを提出してください。

※ 健康保険証の世帯主又は扶養者が申請者と異なる場合は、「扶養申立書」を提出してください。

※ 必ず申請者（保護者等）名義の口座を記載してください。

口座振込申出書

年 月 日

北海道教育庁〇〇教育局長 様

学校へ提出する年月日
を記入してください。

学 校 名 北海道〇〇高等学校

課程・学年 (全日制・定時制・通信制・専攻科) 年

生徒等氏名 北海 太郎

記名が必要です。

申請書（様式1-1）
と同じ「申請者名」
「住所」「電話番
号」を記載してくだ
さい。

申請者氏名 北海 一郎

〒 0 6 0 - 8 5 4 4

申請者住所 札幌市中央区北3条西7丁目

※右詰めで記入し、市外局番も必ず記入してください。ハイフン（-）は不要です。

申 請 者
電話番号私に対
します金融機関名・本支店名を必ず記載してください。コードが不明な場合は、空欄で結構です。
（記載例は「ゆうちょ銀行」です。支店名と店番号コードが同じになります。）

振 込 先	金融機関名	ゆうちょ	銀行 信用金庫 信用組合 農協・漁協 労働金庫	九〇八	本店 支店 支所	預金種目	口座番号	
	コード	金融機関コード	店番号	普通・当座	※〇を付			
	9	9	0	0	9	0	8	
	口座名義（漢字）			口座名義（フリガナ） ※姓と名の間は1マス空け、濁点等も1字として記入してください。				
	北海 一郎			ホ ツ カ イ イ チ ロ ウ				

口座番号に誤りがないか必ず御確認ください。

○ 対象生徒の他に、奨学給付金を申請している高校生等の兄弟姉妹がいる場合、記入してください。

氏 名	続 柄	学 校 名	学 年	課 程
北海 次郎	弟	北海道〇〇高等学校	1 年	全日制・定時制・通信制・専攻科
			年	全日制・定時制・通信制・専攻科
				全日制・定時制・通信制・専攻科

対象生徒以外で奨学給付金を申請している高校生等の兄弟姉妹がいる場合、記入してください。
奨学給付金を申請していない兄弟姉妹（大学生、アルバイト等）の記入は不要です。

- 1
- 2
- 3 口座番号等は、通帳等をよく確認して記入してください。
- 4 金融機関コードが不明の場合は、空欄としてください。その他は必ず記入してください。
- 5 振込先がゆうちょ銀行の場合は、通帳の表紙の裏面に印字されている

「預金者名」、

「…他金融機関からの振込の受取口座として利用する際は、

次の内容をご指定ください。

【注 意】

給付金を受給する口座は必ず書き留めていただくか、「口座振込申出書」をコピーしておいてください。後日問い合わせをいただいても、個人情報であるため、電話での回答ができない場合がありますので御了承ください。

添付書類（扶養申立書）

【道府県民税及び市町村民税所得割額が非課税の方】

※15歳以上23歳未満の扶養する兄弟姉妹の健康保険証に記載されている「世帯主」又は「被保険者」が申請者と異なる場合に提出してください。

申請者住所	札幌市中央区北3条西7丁目	申請者氏名	北海 花子
-------	---------------	-------	-------

私が主として次の者を扶養していることを申し立てます。

○15歳（中学生を除く。）以上23歳未満の申請者に扶養されている兄弟姉妹の住所・氏名

被扶養者住所	〒 000-0000 〇〇市〇〇1-2-301	ふりがな	ほっかい みちお
		被扶養者氏名	北海 道男
被扶養者住所	〒	ふりがな	ほっかい じろう
		被扶養者氏名	北海 次郎
被扶養者住所	申請者と住所が同じ場合は「被扶養者住所」の記入は不要です。		

これらの「扶養申立書」を提出する際には、「申請者（扶養者）」、「生徒本人」、被扶養者欄に記載された「兄弟姉妹」の健康保険証の写しを提出してください。

※ 扶養申立書を提出する場合は、扶養者、生徒本人、兄弟姉妹の健康保険証を添付してください。

※ この扶養申立書は15歳（中学生を除く。）以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹の保険証における「世帯主氏名」又は「被保険者氏名」が申請者と異なる場合、必要になります。（生活保護受給世帯の方は作成不要です。）

健康保険被保険者証

家族（被扶養者）

記号 〇〇〇〇〇〇 平成〇〇年〇月〇日交付 番号 〇〇〇〇〇

氏名 北海 道男

生年月日 平成〇〇年〇月〇日 性別 男

認定年月日 平成〇〇年〇月〇日

被保険者氏名 北海 一郎

事業所所在地 札幌市中央区北3条西7丁目

事業所名称 株式会社 〇〇

保険者番号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

保険者名称 全国健康保険協会 北海道支部

保険者所在地 札幌市北区北7条西4-3-1

国民健康保険被保険者証

有効期限 平成〇〇年〇月〇日

記号 〇〇〇〇 番号 〇〇〇〇

氏名 北海 道男

生年月日 平成〇〇年〇月〇日 性別 男

一部負担金 義務教育修学前の場合は2割、70歳以上の方は高齢受給者証に示す割合。それ以外の方は3割です。

被保険者等記号・番号等にマスキングしてください。

交付年月日 平成〇〇年〇月〇日

資格取得年月日 平成〇〇年〇月〇日

住所 札幌市中央区北3条西7丁目

世帯主氏名 北海 一郎

保険者番号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

保険者名 札幌市中央区

15歳（中学生を除く。）以上23歳未満の申請者に扶養されている兄弟姉妹の健康保険証に記載されている「世帯主」又は「被保険者」が申請者と異なる場合は、これらの「扶養申立書」の提出が必要です。

※例の場合

申請者は「北海花子」だが、世帯主又は被保険者が「北海一郎」となっているため、「扶養申立書」が必要。

所得（市・道民税）証明書

納税義務者 住所
氏名

添付書類（課税証明書）

【道民税・市町村民税所得割額が非課税の方】

扶養控除 学校関係申請用

平成 年度	合計所得金額	市・民税	道民税	年税額
以下	0円	所得割額 均等割額	所得割額 均等割額	0円
年分の所得の内訳		所得控除額の内訳		
		基礎控除	障害者	0円
		医療費	重傷（未）	0円
		社会保険料		
		小規模共済		
		生命保険料		
		地震保険料	0円	基礎控除 330,000円
		控除額計 330,000円		
扶養親族の内訳		扶養人数		
配偶者		扶養人数		
一般		1人	1人	1人
特定		0人	0人	0人
同居		0人	0人	0人
1人		0人	0人	0人
年少		0人	0人	0人
同居		0人	0人	0人
普通		0人	0人	0人
本人該当		0人		

申請する「年度」の証明書が必要です。

こちらの「道民税・市町村民税」のうち「所得割額」が「0円」の方が該当になります。100円以上の金額が記載されている方は奨学給付金の対象者とはなりません。

本書のとおり相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

札幌市長